

がんばれ

私は障害児の通園施設で保育士をしています。以前、出会った人の名言です。その人は若い頃はかなり「やんちゃ」をしてかした人で、少年院にも数回お世話になったそうです。ちなみに、その方に「フアンタジューズ」のグレープ味を渡すと、その頃お母さんが差し入れに持って来てくれたことを思い出して泣きます。

そんな彼ですが、いまは誰よりも福祉に熱い男になり、30代半ばにして障害者の作業所を自ら立ち上げて、所長として頑張っています。

私は彼とは正反対の性格ですが、なんにしても破天荒な発想の彼に、魅力を感じていました。とにかく、いつ見ても楽しそうなんです！逆境をワクワクと楽しむ姿もあり、なんだかギャングエイジの子供のようでした。

出会った当時、私は会社内で保育士をしており、実態よりも利益を追求する会社の経営に憤りを感じて仕事をしていました。それゆえ、いつもイライラした表情の私に、彼はある言葉を書いた1枚のメモをくれたのです。その言葉とは・・・

「顔晴れ！」

「えっ？ 何これ？ なんて読むの？」

そう尋ねると、彼はこう言いました。

「がんばれ！」

「お日さんが照つてるときみたいな晴れ晴れした顔（笑顔）でガンバレっていう意味やで」と。

その言葉に涙が出ました。同時に、笑えない顔で子供と向き合っていた自分を反省しました。

今でも「顔晴れ！」はお互いの合言葉です。笑顔つて福祉の原点だなあつて現場でしみじみ感じています。笑つていたら、ホント、不思議なくらい逆境が楽しくなるんですよ。つらいときほど笑うんだ。顔晴れ！

「漢字幸せ読本-KKベストセラーズより」

先日、聞きに行った講演会で・・・

「どんなに厳しい状況、病気でも、笑えてる時は大丈夫だと思えます！」

という話を聞いてきました。実際、私もご相談を受けるお客様で、きちんと笑える方は大丈夫のようない気がします。（病気ではあっても病人ではないという判断ができます）

皆様のまわりに、もし笑顔が出てないなとを感じる方がいらっしゃったら、それとなく「顔晴れ」と声を掛けてあげて下さい。

P.S.

私もお客様が、少しでも「顔晴れ」るように心掛けたいと思います。

「笑う」という表現は、人間しか持つてないシステムであり、今、現実に「笑う」ことによつて、免疫力がアップして、病気などを治すパワーがあるという医学会の発表などが多くあります！

季節の変わり目で、体調を崩しやすくなる月となりますが、笑顔で健康力をアップさせて、いっしょに「顔晴りましょう」

くすりのキョウト 倉光 浩城

